中2 歴史 近世 穴うめ（20問）　版Pの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 天下統一のころの豪華で力強い文化を（　　）という　　桃山文化
（安土桃山文化 でも正解）

(2) 1575年に鉄砲を使って武田の軍を破ったのが（　　）である　　長篠の戦い
（長篠・設楽原の戦い でも正解）

(3) 1549年に日本にキリスト教を伝えた宣教師は（　　）だ　　フランシスコ・ザビエル
（ザビエル でも正解）

(4) ルターらがカトリック教会を批判して始めた運動を（　　）という　　宗教改革

(5) 喜望峰を回り1498年にインドに着いたのは（　　）だ　　バスコ・ダ・ガマ
（ヴァスコ・ダ・ガマ・バスコ=ダ=ガマ でも正解）

(6) 天下分け目の戦いのころから徳川家に従った大名を（　　）という　　外様大名
（外様 でも正解）

(7) 1637年に天草四郎を大将にして起きた一揆が（　　）だ　　島原・天草一揆
（島原の乱・島原天草一揆 でも正解）

(8) 徳川家康が征夷大将軍となったのは（　　）である　　1603年

(9) 江戸時代に朝鮮との外交や貿易の仲立ちをしたのが（　　）だ　　対馬藩
（宗氏 でも正解）

(10) 東南アジア各地に日本人が移り住んでできた町を（　　）という　　日本町
（日本人町 でも正解）

(11) 5戸ずつまとめて連帯で責任を負わせたしくみが（　　）だ　　五人組

(12) 目安箱を設けた8代将軍は（　　）である　　徳川吉宗

(13) 1837年に人々を救うため大坂で乱を起こしたのは（　　）だ　　大塩平八郎

(14) 株仲間をすすめ、商業の力を利用した老中は（　　）である　　田沼意次

(15) 生類憐みの令を出した5代将軍は（　　）である　　徳川綱吉

(16) 19世紀半ばに天保の改革を行った老中は（　　）である　　水野忠邦

(17) 人形浄瑠璃の脚本で『曽根崎心中』を書いたのは（　　）だ　　近松門左衛門

(18) 杉田玄白らがオランダ語の解剖書をほん訳した本が（　　）だ　　解体新書

(19) 日本古来の考え方を明らかにしようとする学問を（　　）という　　国学

(20) 藩が武士の子弟を教育するためにつくった学校を（　　）という　　藩校
（藩学 でも正解）